

富山市 介護相談員だより 第23号

介護相談員バッチ

2022.03 富山市介護相談員 富山市新桜町7-38 富山市介護保険課内 TEL443-2206

～介護相談員が市表彰を受けました～

「表彰を糧として」

富山市介護相談員 長谷川静子

この度、令和3年度富山市長表彰厚生功労賞を拝受いたしました。誠に光栄に思います。

これもひとえに皆様方のご支援によるものと感謝し厚くお礼申し上げます。

今回の受彰は私1人に授与されたものではなく、これまで介護相談員派遣事業に携わった皆様方と長年積み重ねてきた活動に与えられたものです。

皆様とともに喜びたいと思います。

さて、富山市介護相談員派遣事業は平成13年度から開始されました。介護相談員10名が委嘱され、事業所24か所を対象に訪問されました。その頃の私は、姑と実母の介護に追われ、施設の職員方のお世話になりながらも現場の厳しさを目の当たりにしました。その後、二人は共に89歳で他界、寂し気で気落ちしていた私に、先輩相談員から声をかけられ活動の体験談を聞き介護相談員活動を知りました。報恩感謝、自分にも何かできることがあるのではないかと考え応募し、今日に至っております。今日までの私の活動の後押しとなったことは、施設には私たちの訪問を心待ちにして下さる、入所者さんの存在があることです。訪問時は一回一回を大切に思い、入所者さんにお声かけし寄り添うこと、不平不満や疑問に思うことがあればゆっくりと話を聞くことで、表情がゆるみ、いきいきとされ、明るい笑顔で「また来てね、待っとるちゃ」との言葉。その笑顔から、沢山のことに気づき、素晴らしい多くの出会いに感謝し介護相談員活動の役割を実感しております。

この度の受彰に際し「これからの社会には介護相談員の役割はますます重要になってきます、頑張ってください」と激励の言葉をいただきました。入所者の豊かな暮らしや介護サービスの資質向上をめざし、派遣事業所との連携を深め、さらに精進して参りたいと心新たにしております。

今後とも皆様には変わらないお力添えとご指導をよろしくお願い申し上げます。

～一日も早く通常の訪問活動が再開できるよう仲間とともに心待ちにしています～

★長谷川静子さんは、全国組織より介護相談員10年の永年表彰も受けられました。



介護相談員活動とは

介護相談員は、介護保険施設を訪問し、利用者やご家族が困っていること、疑問に思っていること、施設にお願いしたいことなどをお聞きし、また介護相談員自らが気づいたことなどを施設にお伝えすることで、施設で安心して過ごせ、よりよいサービスが受けられるよう、施設との橋渡し役を担っています。

富山市では24名の相談員が特別養護老人ホーム、老人保健施設、グループホームへ訪問しています。

★令和2年度の訪問状況 ※令和2年、3年度は感染の影響で訪問回数が減りました。

特別養護老人ホーム	老人保健施設	グループホーム	訪問回数は、令和2年度 248回 (※参考：令和元年度9195回)
38施設 (38施設中)	15施設 (18施設中)	44施設 (44施設中)	

工夫しています

(施設へのアンケートより)

椿寿荘・たちばな荘より

感染予防での苦労

感染状況が変わるたびに面会禁止にしたり、窓越しやオンライン面会に変えたりする必要があった。



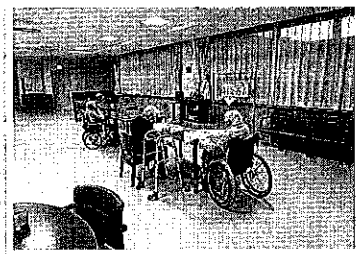
窓越し面会

ホッとした出来事や紹介

窓越し面会で本人と家族の嬉しそうな様子に感動した。家族と会う事の大切さを感じた。

利用者の体調や生活面の変化

行事がなく、刺激や季節感が無くなり利用者の認知症が進行するのではないかと心配。外出できず不満を訴える利用者もおられた。



ソーシャルディスタンス

その他、回答いただいた内容を紹介します。(同様の回答はまとめております。)

ホッとした出来事、紹介したいこと

面会制限中、定期的にお手紙を書いて持参して窓越しに会いに来られ、嬉しい笑顔を見ることができた。手紙を大切にされている。

家族に月1回の近況報告をしている。家族からの励ましの言葉がありモチベーションが少し上がった。

行事等の写真を家族に渡している。様子を見られて嬉しいとの声があった。

施設でおやつ作りやイベント、家族にかわって買物するなど工夫し、安定が図れた。

ほとんどの利用者はコロナ禍を意識しておられず、喜怒哀楽さまざまな毎日。

家族や外部の方を招く秋祭りは中止し、利用者と職員のみで開催した。手作りの獅子舞や職員のダンスに声援を送り、笑顔で喜ぶ様子に明るい気持ちになった。

テイクアウトで美味しい食事をする、施設の庭を散策し楽しむなどで、嬉しい様子があった。窓越しやタブレットでの面会にも慣れ笑顔で会話される。

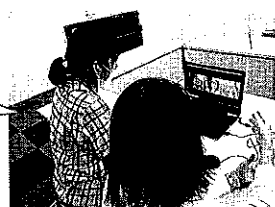
100歳祝を家族とできた。感染状況をみて12月にファッションショーを行なう。

小さな行事(ソーシャルディスタンス運動会など)を開催、とても楽しそうにされた。今後も少しでも楽しく過ごせるような行事を企画したい。

ホームページに毎日掲載している。

特別な催しはできないが日々安心し穏やかに過ごせるよう努めている。

あさひホームさんにオンライン訪問させてもらいました!



感染予防での苦勞

職員は県外者との接触を避け、旅行を自粛するなど徹底した。勤務停止となった場合、やりくりが大変だった。

食事の場面では特に気を配っている。

予防的に職員を固定して対応した。チームアプローチの対応がしづらい、業務負担が偏るという課題があった。

マスク着用が難しい利用者がおられた。

利用者の体調や生活面の変化

利用者同士の交流が無くなった、行動範囲が狭くなった、家族との面会制限で、情緒不安定となる方もおられた。

外出できない、交流制限などで、ADL低下、意欲低下、認知症の進行がみられた。

地域での交流、活動が減り、施設内で過ごされる時間が多く、筋力低下が心配。室内でできる運動を取り入れた。

利用者が感染状況を理解できず、家族に会えず寂しい思いをしている。

*回答へのご協力、ありがとうございました。

定例会

研修報告

開催日：令和3年11月5日

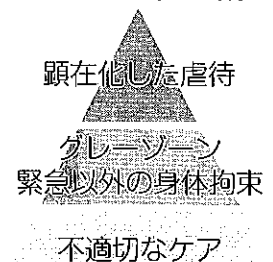
講義 「施設における高齢者虐待、不適切なケアについて」

講師 長寿福祉課

①高齢者虐待の5分類について

- 身体的虐待（暴力、乱暴な扱い、やむを得ない場合以外の身体拘束）
- ネグレクト（介護や世話をしない、受診させない、服薬を怠る）
- 心理的虐待（威嚇や侮辱的発言と態度、コールの無視）
- 性的虐待（性的接触の強要、裸を撮影）
- 経済的虐待（着服、窃盗、寄付の強要）

②施設内虐待の概念

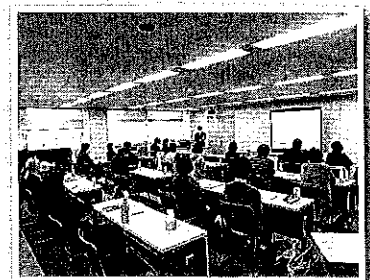


②施設（通所、入所、サービス付き高齢者住宅等）の虐待通報は
平成30年10件、令和元年11件（市へ通報分）

③虐待予防のために…認知症ケアを確立

- ・身体拘束、抑制対象の8～9割は認知症高齢者、虐待を受けている6～8割は認知症高齢者
- ・介護事故、転倒のリスクが高い、環境認知に困難のある認知症高齢者
- ・認知症があっても他者とのコミュニケーションがその人らしさを保つ

*相談員として：認知症高齢者への対応や不適切なケアについても意識して活動したいと思った。



『コロナ禍での施設の工夫』

八尾老人保健施設

風の庭

皆様こんにちは、八尾老人保健施設 風の庭です。

当施設は、地域の皆様が住み慣れた地域で元気に生活を続けていくことが出来るように、入所、短期療養入所、通所リハビリテーションを提供しています。

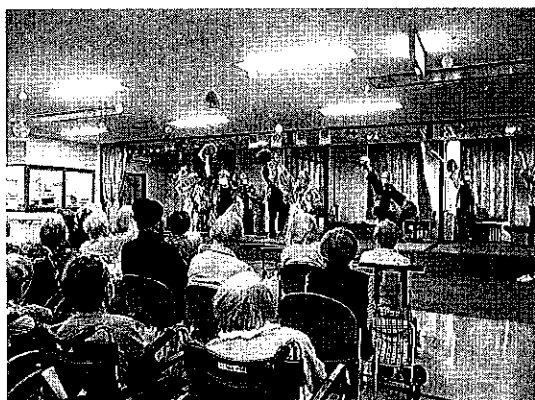
当施設は、昭和63年11月に入所76床、デイケア20名で開設しました。

時代の流れと要望とともに、平成10年8月に「認知症専門棟」30床、平成14年4月に一般棟44床を増床し、現在150床となっています。デイケアは定員70名です。

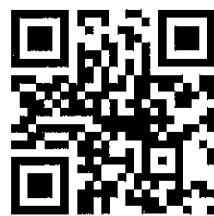
令和3年7月には、利用者様の状態や目的に合わせた環境でより良いリハビリ、ケアが出来るように一般棟44床が「リハビリ棟」として生まれ変わりました。紹介動画がありますので、QRコードからぜひご覧ください。

近年は、コロナウイルスにより様々な影響がありましたが、感染予防を徹底し、利用者様に楽しんでもらうためにフロア別イベントの開催やiPad面会（オンライン面会）など、出来ることを行っています。

風の庭は、八尾総合病院に併設しており、医学的管理のもと、看護、介護、リハビリ、生活支援まで、良き隣人として地域に密着したサービスとホスピタリティを提供してまいります。



リハビリ棟の紹介動画です
(You Tubeのページが開きます)



編集後記

2年に渡るコロナ禍で、利用者および家族の方、そして介護に携わる皆様は、心身ともに大変なご苦労、負担を強いられています。このような中、相談員の訪問にご対応いただいた施設の担当者の皆様、ありがとうございました。

頑張り続ける皆様に、一日でも早く、平穏な日常が戻るようにと願うばかりです。

この度の介護相談員だよりの発行に際し、多くの皆様にご協力をいただき感謝申し上げます。

(介護相談員 山田記)

〈編集委員：和田・山田・多保田〉